

「BI とビッグデータ 2」NaiveBayesWork (要提出, 白紙は不可)

学籍番号 _____ 氏名 _____ 得点 _____

問題 1

フルーツポンチの売店があり, 4 つの壺にそれぞれ異なる特徴を持つフルーツポンチが入っています. 壺は, トロピカル, クラシック, 山形, 山梨, という名前が付いていて, 中に入っている果物の割合は下記のようになっています. この割合は, 壺 $C^k (k = 1, \dots, 4)$ を選んだ時, 果物 $m (m = 1, \dots, 7)$ が取り出される条件付き確率 $P(m|C^k)$ を表しているといえます. これを q_m^k と表します. また, 壺が選ばれる確率 $P(C^k)$ はすべて等しい ($P(C^1) = 0.25$) とします.

		壺			
		トロピカル	クラシック	山形	山梨
果物	マンゴー	0.5	0.05	0.03	0.05
	ナタデココ	0.1	0.1	0.1	0.1
	いちご	0.03	0.3	0.05	0.05
	ぶどう	0.03	0.1	0.15	0.5
	さくらんぼ	0.04	0.1	0.4	0.05
	桃	0.1	0.3	0.25	0.2
	アロエ	0.2	0.05	0.02	0.05

今, ボウルに入ったフルーツポンチが与えられ, 7 種類の果物がそれぞれ $x_m (m = 1, \dots, 7)$ 個入っているとします. このとき, どの壺が選ばれたかを, 最も事後確率 (フルーツポンチが与えられた時に特定の壺が選ばれていた確率) $P(C^k|X)$ が大きい壺を選ぶ MAP により推定することにします. ここで, X は, 7 種類の果物がそれぞれ x_m 個選ばれたという複合事象を表します. $P(C^k|X)$ の大小関係を比較できる値は, $\log P(C^k) + \sum_{m=1}^7 x_m \log q_m^k$ と書けます. 壺が等確率で選ばれるという仮定から, すべての壺 k に対して $\log P(C^k) = \log(0.25) = -1.39$ になり, 対数をとった条件付き確率 (= 対数尤度) $\log q_m^k$ は, 下記のようになります.

		壺			
		トロピカル	クラシック	山形	山梨
果物	マンゴー	-0.693	-3.00	-3.51	-3.00
	ナタデココ	-2.30	-2.30	-2.30	-2.30
	いちご	-3.51	-1.20	-3.00	-3.00
	ぶどう	-3.51	-2.30	-1.90	-0.693
	さくらんぼ	-3.22	-2.30	-0.916	-3.00
	桃	-2.30	-1.20	-1.39	-1.61
	アロエ	-1.61	-3.00	-3.91	-3.00

問: 下記のボウル (に入った果物) が, どの壺から取り出されたかを MAP 推定しなさい. 手順は, 与えられたボウルに対し, それぞれの壺について対数事後確率と大小関係が同じ

$$\log P(C^k) + \sum_{m=1}^7 x_m \log q_m^k, \quad (1)$$

を計算し, 最大となる壺を答えとしなさい. x_m は m 番目の果物の個数です.

ボウル 1: マンゴー 3, ナタデココ 2, 桃 2, アロエ 3 個
下記結果より, ボウル 1 に対する MAP は の壺.
トロピカル: $-1.39 - 0.693 \times 3 - 2.3 \times 2 - 2.3 \times 2 - 1.61 \times 3 = -17.5$

クラシック:

山形:

山梨:

ボウル 2: マンゴー 1, ナタデココ 1, ぶどう 2, さくらんぼ 6 個
下記結果より, ボウル 2 に対する MAP は の壺.
トロピカル:

クラシック:

山形:

山梨:

ボウル 3: いちご 1, ぶどう 4, さくらんぼ 1, 桃 3, アロエ 1 個
下記結果より, ボウル 3 に対する MAP は の壺.
トロピカル:

クラシック:

山形:

山梨:

自分でボウル (果物 10 個ほど) を作り, 推定しなさい.

ボウル 4:
下記結果より, ボウル 4 に対する MAP は の壺.
トロピカル:

クラシック:

山形:

山梨: